

「市長とドンドン語ろう！天明」 平成29年10月19日 (天明公民館会議室) 意見交換内容 参加者：50名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>(1) 天明地域の小学校について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つの小学校の統合は一長一短あり、私はどちらでも言いと思っているが、児童数が減り複式学級になるのは好ましくない。複式学級は先生方の準備が大変であり、怠けると子どもに影響を及ぼす。検討委員会を立ち上げ、話し合いの場を作るべき。 ・統合する場合は、スクールバス、3階建ての新校舎建設及びやる気のある教師の配置をお願いしたい。小中一貫教育とする場合は特に天明中学校の教育の充実をお願いしたい。おそらく市内で一番少ない教員数。単なる小中交流教育ではいけない。教員定数がどうなるのか知りたい。 ・跡地の活用を考えなければいけない。運動場は、通常、グラウンドゴルフやサッカーなど、災害時は駐車場として使い、校舎はダンスや料理教室に使い、災害時は避難所としての役割を果たせる。教室を町内単位で利用したり、給食室を炊き出しに使用するなど。また、災害ボランティアセンターとしても使える。住民のための有用な地域コミュニティーセンターとするための維持管理に必要な人の配置をしてほしい。そして、それに伴う予算の位置づけをお願いしたい。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校については、教育環境を高めていかなければいけない。統廃合は選択肢の一つとなる。自分が学んだ学校がなくなるのは耐えられない。少子化の検証が必要。小中一貫教育の良さは9年間の教育課程で高い学習効果を得られる環境。そのためには人であり教員の配置も大切。統廃合となれば立ち上げの際は検討が必要であり、松尾でも跡地の利活用を地域の皆様と話している。例えば普段は社会教育・生涯教育の場として、非常時は災害対応の拠点とするなど。民間企業からの協力や皆さんが出し合ったお金を使って管理運営することも考えられる。 【松永部長】 ・学校規模適正化の基本方針として、いい意味で学び合い競い合う環境の提供が必要であり、複式学級の解消が必要と考えている。天明地区では、中緑校区と川口校区の校区自治協やPTAとの協議をしている。4小学校で統合する場合も含めて協議している。基準は12-24学級 1学年が2クラス以上でクラス替えができる 保護者や地域住民と話し合い進める。理解が得られた後、地域懇談会をつくり課題解決を図る。富合地区等の小中一貫教育の検証の成果を活かせる小中一貫教育の導入が可能と考える。 	教育委員会	学務課
2	<p>(1) 「地域貯金」の提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1ヶ月400円を天明地域へ貯金する仕組みをつくると、1月で160万円、1年で1,920万円、3年で5,780万円となり、地域のみinnで貯めれたお金となる。これは天明地域8896人のうち、労働者からのみ集めた数字である。このお金をまちづくりボランティアの方へ支給したり、天明ホールの修理などに使い、住んでいるみんなでこのまちを作っているという実感につながる。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば出し合ったお金を学校の跡地活用（避難所・ボランティアセンター）のために使ってもいいと思う。また、普段は社会教育・生涯教育の場として、非常時は災害対応の拠点とするなど。民間企業からの協力や皆さんが出し合ったお金を使って管理運営することも考えられる。 <p>-----</p> <p>【地域活動推進課 追記】</p> <p>(また、) 町内自治会等の地域団体にとって、自主財源の確保やまちづくり活動の担い手発掘は重要と考えており、引き続き自治会加入促進等を支援することで、自主自立のまちづくりを進めていきたい</p>	市民局 南区役所	地域活動推進課 総務企画課
3	<p>(1) 立地に恵まれている天明地域について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本駅まで20分、市役所まで30分、県庁まで35分という好立地なのに、小学校2校は複式学級である。そうならないためにはどうしたらよいか。その原因は少子高齢化だと思う。また、先日敬老祝賀会を行ったが、町内約300人のうち、75歳以上の方が74人おられ、実に25%が高齢者。小学生は19人で今年は新入学生がいない。そこに視点を当てたい。なぜ若い人が定住しないのか。農地の保全をしなくてはならないのはそのとおりだが、それだけでは先細りするだけ。子どもを増やす施策が必要。地域の知恵や行政の力も使い人口を増やす方法を考えるべきである。どういう対策が考えられるか。農村地域の中に若者、若夫婦を増やすにはどうしたらよいか。農村地域のよさを残しながら人口増加に取り組まなければならないと思う。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減については、天明地区だけではなく熊本市全体としても同様で、18歳を過ぎると進学や就職で三大都市圏、福岡県に対して転出超過となっており、一極集中が進んでいる。出生率は1.52%であり全国平均よりやや高めであるが、本市における希望出生率は2.1%であり、それには届いていない状況である。本市では、平成28年3月に人口の将来展望等を取りまとめた人口ビジョンを策定しており、その中で2040年頃に希望出生率を実現し、2050年に70万人程度の人口を維持することを目標に掲げている。しかしながら、今、手を打ったとしても約20年かかる。従って今後20年は人口減となるという前提で社会の仕組みをどう考えていくのが難しいところである。対策としては、人口減少克服等の課題に対して取り組む対策を取りまとめた「しごと・ひと・まち創生総合戦略」の中で、「結婚・出産・子育ての切れ目のない支援」や「UIJターン等による転入促進」などの施策を実施し、暮らしやすい熊本をつくるのが考えられる。天明地区に関しては、熊本駅まで20分という立地や親切な人が多いことなど、実際に住んでみないとわからない天明のよさを地域の皆様とまちづくりセンターでPRしていきたい。また、考えてほしいことは、ご自分のお子様や近所の知り合いのお子様はどうしたら帰ってくるか。魅力を感じて住んでいる方もいる。この地域のコミュニティーの良さを知っている人もいる。皆さんと一緒に考えていきたい。 	南区役所 政策局	総務企画課 政策企画課

「市長とドンドン語ろう！天明」 平成29年10月19日 (天明公民館会議室) 意見交換内容 参加者：50名

No.	ご意見	回答	局	担当課
4	(1) 結婚支援課の設置について ・個人的に結婚紹介をしていて、これまで47組まとめた。区役所に結婚支援課を作ってほしい。	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> これからも頑張って結婚紹介を増やしてほしい。行政でも結婚に関する出会いの場の提供について取り組みを始めているところで、確かに区ごととかエリアごとに行うのはいいと思う。南区だけではなくエリアを広げていきたいので手法を教えてください。結婚支援課の設置については、行政がどこまでするかという課題もあるが、少子化・晩婚化対策にもつながるので頑張っていきたい。 <p>-----</p> <p>【子ども支援課 追記】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政の結婚支援への取組としては、平成26年度から独身者向けのセミナーや婚活イベントを実施してきた。 また、平成28年度には、結婚世話人（地域で結婚支援を行うボランティア）を養成し、平成29年度から活動を行っていただいている。 さらには、平成29年12月から結婚支援を行う企業や団体を「熊本市 結婚・子育て応援サイト」へ「結婚応援団体」としての登録を開始し、各団体の取組の広報を支援する等により地域全体で結婚支援の機運醸成を図っていく。 	健康福祉局 南区役所	子ども支援課 総務企画課
5	(1) 海路口町について ・天明という町はない。海路口町(うじぐちまち)という町名を知らない人がいるので、市政だよりなどで紹介してほしい。	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 天明のそれぞれの旧町名をわかりやすく伝えていくことは大切だと思う。歴史のある地名であり文化が根付いた地域だということを、地域の歴史などとともに、わかりやすい広報物等で広めていくことを心がけていきたい。 	南区役所	総務企画課
	(2) 小中学校の冷暖房設置につて ・3人の孫から学校には冷暖房がないと聞いたので、早急に全ての小中学校つけてほしい。	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校のエアコン設置は、今年度中に小学校も含めてすべて完了する。 <p>-----</p> <p>【施設課 追記】</p> <p>小中学校のエアコン設置につきましては、全ての学校で、平成30年の夏から使用できるように取り組んできたところですが、工事入札の不調により、一部の学校においては、平成30年9月以降の利用開始となる予定です。</p>	教育委員会	施設課
	(3) 国道501号について ・ある地区から反対運動がおこっているのと聞いている。買収が終わってれば工事を進めてほしい。	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度は銭塘の道路改良工事を予定している。また、無田口地区の水路整備工事も予定している。天明川尻線については、古新地橋架け替えのための用地買収を予定している。 <p>【西部土木センター所長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道501号（通称：飽田バイパス）は、全長3.8kmあり、そのうち北側拡幅部の800mは完了している。今年は銭塘地区の200mの道路改良工事を業者へ発注済で、近々工事が始まる予定。 水路整備は27年度から取りかかっており、1本については今年度終了予定。 着実にすすめているところ。 天明川尻線についても事業を進めているところであり、皆様のご理解ご協力をお願いしたい。 <p>-----</p> <p>【西部土木センター道路課 追記】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飽田バイパスの内田町地区の交差点形状については、引き続き、地元と協議しながら事業の進捗を図る予定。 	都市建設局	西部土木センター道路課

「市長とドンドン語ろう！天明」 平成29年10月19日 (天明公民館会議室) 意見交換内容 参加者：50名

No.	ご意見	回答	局	担当課
6	<p>(1) 避難場所について</p> <p>・天明は、緑川、加勢川、天明新川などがあり、山の無い平坦地で洪水や高潮災害が心配されるときに避難する場所がない。先日の台風18号がきたとき、天明新川と緑川が合流する地域住民から、どこに避難すればよいかと尋ねられ、南東はアスパル富合、北東はアクアドームと案内した。そこで、川口小学校と天明まちづくりセンターを洪水高潮時の避難所に改修指定してほしい。具体的には、川口小では北校舎と南校舎の屋上に登る避難階段と屋上フェンスの設置し、浸水は4m程度が予想されるため、2階まで上がればよいと思う。平屋に住んでいる人は付近の2階建の家に誘導し、なるべく自主的に自宅にいるようにしてもらおう。そうすると川口小学区の人口は2000人程度なので、その1割の200人の避難を考えれば良いと思う。屋上は資材置き場や避難者数の予想を超えた場合の予備スペースとして</p>	<p>【市長】</p> <p>・現状、早めの避難準備情報等を出しているが避難場所は限られている。地震で新港道路がパニックになった。垂直避難用のタワーを建てることなどはすぐにはできないので、現実的に今できる対応策を地域住民と危機管理防災総室で検討が必要。避難場所の表示は市長公約にも掲げている。高齢者や障害者が避難しやすい避難先も検討しなければならないので、皆さんのご意見をお聞きしたい。</p>	政策局	危機管理防災総室
7	<p>(1) 液状化した宅地復旧の補助金について</p> <p>・南区役所へ15人の署名を添えて液状化した宅地の復旧に対して補助してほしいと陳情に行ったが、結果的に大規模被害を受けた3人だけの認定で、ほとんどが対象とならなかった。これでは何のために陳情に行ったのかわからないではないか。</p>	<p>【市長】</p> <p>・宅地復旧は非常に重要であるが、現状では対象とならない方もいる。国の色々な補助も使いながら、多くの皆様の経済的な支援につなげていきたい。できるだけの手立てがないか考えているが、ご承知のとおり地盤沈下や擁壁の崩壊など被害件数が多いため、一定のラインが制度上できることにはご理解いただきたい。ただ、そういう中でも何らかの手立てがないか考えたい。</p>	都市建設局	震災宅地対策課
	<p>(2) 高規格道路について</p> <p>・海路口では、宇土高規格道路が計画されている。海路口第3号線と海路口川口2号線という奥古閑小学校まで続く道路があるが高規格道路部分が進まない。国交省になると思うが、ボックスを入れるだけでもいいから、道路拡張ができるよう国交省との協議をお願いする。</p>	<p>【西部土木センター所長】</p> <p>・熊本宇土道路については、事業を担当する国土交通省熊本河川国道事務所と打ち合わせを行い、その経過を報告させていただきたい。</p> <p>-----</p> <p>【道路課 追記】</p> <p>・後日、地元自治会長と国交省を交え現地立会いを実施した。結果、国交省のボックス工事は当分の間整備できない旨、ご理解いただいた。ボックス東側の国交省事業区間外の箇所について平成30年度以降、市で整備することとした。</p>	都市建設局	道路整備課 西部土木センター道路課

「市長とドンドン語ろう！天明」 平成29年10月19日 (天明公民館会議室) 意見交換内容 参加者：50名

No.	ご意見	回答	局	担当課
8	<p>(1) まちづくりセンターについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たらい回しがなくなり感謝している。センター職員は最低2～4年いてほしい。 ・頻繁に人事異動があれば同じ事を何回も話に行かなくてはならない。また、地域担当職員として長期間頑張った職員は、良い人事評価をして職員の励みにしてほしい。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当然、人が変われば話がつながらなくなる。地域担当職員は少なくとも3～4年は在籍し2年は重なるような人事を考えており、スタートの段階で地域の皆様と馴染むように人事も考えていきたい。また、地域のまちづくりを経験し、机上の空論にならないようにしなければいけない。適材適所の人事ローテーションも考えやしていきたい。市職員全員が地域担当職員という気持ちで魂こめて仕事をするということが、私の目指しているところなのでよろしくお願ひしたい。 	市民局 総務局	地域政策課 人事課
	<p>(2) 校区割について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複式学級という言葉は耳が痛い。空き家対策などを行ったところ37人だった児童数が今では53人になった。婚活や既存の空き家の有効活用もこの中線には必要。そして、児童数の少ない学校に通わせたいという保護者もいるだろうから、学校の区割りを緩和できれば天明のためになると思う。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの教育面で、どれくらいプラスになるかを考え議論されると思う。ただ単に統合や合併ではなく、前向きな話になるよう頑張りたい。 	教育委員会	学務課
9	<p>(1) 川口校区について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農振除外地区の面積、白地地区の面積、転用できる面積がそれぞれどれだけあるのか。いろんな規制があると思うが規制が緩和できる面積はどれだけあるのか。具体的には川口で住宅建設ができないため、宇土市や宇城市に転出する人が多数いるので詳しく聞きたい。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、数字を持ち合わせてないため、まちづくりセンターを通して農水局から改めて回答させる。趣旨としては住宅を含めどれだけ自由度があるかとのことと思う。ご存知のとおり、開発等には農振などの規制があるが、現行制度の中でどのようにまちづくりを進めていくのか考えなければならない。 <p>-----</p> <p>【南農業振興課 追記】</p> <p>川口校区における農業振興地域の面積は約245haであり、うち原則として宅地等へ転用のできない農用地区域の面積が約153ha、場合によっては転用が可能な農振白地（集落内開発地域を含む）の面積が約92haとなっております。</p> <p>なお、実際に開発等に伴う農振の除外や転用を行う場合、いずれも、農振など関係法令に基づき判断することとなります。</p> <p>※天明まちづくりセンターより11月6日に本人に回答済み。</p>	農水局	南農業振興課

「市長とドンドン語ろう！天明」 平成29年10月19日 (天明公民館会議室) 意見交換内容 参加者：50名

No.	ご意見	回答	局	担当課
10	(1) 避難場所について ・海路口は海拔0mで、いざという時に逃げるところがない。奥古閑小学校の屋上を利用できないか。	【市長】 ・現在、避難場所については学校の屋上も含め検討しているところ。	政策局	危機管理防災総室
	(2) 小学校の統合について ・自治会としては徹底的に反対と言っていたが、教育委員会の話では、現在、奥古閑小学校の児童数は140名で、5年後は110名となり、銭塘は100名を切るかも知れない。いずれは合併しなければならないだろうと考えているそうだが、問題は跡地問題。跡地問題は地元としっかり話し合うと言ったが、実はそうではなかったということを私は言いたい。奥古閑の小屋を避難所にしてほしいとお願いしたができていない。奥古閑小学校が介護施設になつては困る。絶対的に合併反対ではないが、小中一貫校も含めてもっと深く話してほしい。	【市長】 学校跡地問題については、統合や廃止を含め、方針が決まってないので議論しにくいですが、皆様とどうやって利用するかを考えていきたい。例えば平時は生涯教育の場、非常時は避難場所などが考えられる。いずれにしても先が見える展望が必要。どうなるかわからない不安ではなく、我々としては、こういう将来が良いのではないかと、といったことを学校問題や防災問題も含めて、今後、皆様にお諮りしたい。	教育委員会	学務課
11	(1) 防災について ・去年の地震では津波注意報が出て、地域住民のほとんどが銭塘小学校に避難した。後に避難所となったが、そのとき困ったのが水のこと。飲み水は給水車がきてくれた。トイレの水は消防団が中心となりプールの水を利用した。しかし、どうしても自前で水を確保したいとの思いから、校区でお金を出し合い、学校の許可を得てボーリング（掘削）を行った。この水を災害時は飲み水として、平常時は子どもたちのために池用の水として使いたい。そのため50mほどの給水栓工事や電気工事を含むポンプ設置工事が必要なので、できれば銭塘校区の水対策としてお願いしたい。	【市長】 ・現在、方向性としては貯水機能付給水管の整備を進めている。また、倒壊した中学校やプレハブの学校もあるので、これからの数年間の予算は被災した学校の整備を優先している。 ・井戸については、許可的のこともあると思う。まちづくりセンターが環境局と繋いで対応したい。 【環境局長】 ・井戸水は届出制なので、不明な点は水保全課で説明・対応する。 ----- 【水保全課 追記】（補足説明） ・熊本県地下水保全条例に基づき、揚水機吐出口断面積が19平方センチメートル（直径約4.9センチメートル）以上の場合は、第25条の3の規定により許可申請が必要になります。また、同様に断面積が6平方センチメートル（直径約2.7センチメートル）以上19平方センチメートル（直径約4.9センチメートル）未満の場合は、第26条の規定により届出が必要になります。断面積が6平方センチメートル（直径約2.7センチメートル）未満ですと、許可申請や届出の必要はございません。ご不明な点がございましたら、水保全課水量保全班までお問い合わせください。	環境局	水保全課

「市長とドンドン語ろう！天明」 平成29年10月19日 (天明公民館会議室) 意見交換内容 参加者：50名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>(1) 高齢者について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天明は高齢化率が高く、現状37.5%、川口校区に限っては42%である。悪徳商法などが心配だ。そのような中、高齢単身者の話を聞くと、天明は銀行がないので、沿岸部の方などはタクシーを使い銀行に行っているとのこと。まちづくりセンターにATMの設置をお願いしたい。以前も声を上げたが難しいとの回答だった。今でも要望を聞くのでお願いしたい。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天明の高齢化率が高いのははっきりしている。ATMは銀行が設置するものだが、かなりハードルが高い。実は東区役所にもATMがないので、かなりの数の要望がある。銀行も縮小傾向にあるが、肥後銀行がハモニカー（5tトラックにATM、銀行窓口機能を搭載）が、金融機関が少ない地域や被災地の復興住宅などを回っている。例えば宇城や三角を巡回する際、南区にも回っていただくなど、要望を伝えたいと思う。 	市民局	地域政策課
12	<p>(2) 後継者（担い手）不足について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで老人会やサロンの参加（送迎）支援を行ってくださった方も高齢者となり、次を支える方たちが少しずつ減っているが、市はどのように考えているのか。 	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴い人数的に成り立たないという状況だと思う。学校区単位にとられない集いやすい単位を考えていきたい。まちづくりセンターと地域包括支援センターとも連携しながら皆様が安心して過ごせるように頑張っていきたいので、よろしくをお願いしたい。 <p>-----</p> <p>【福祉課 追記】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、天明地区も含めた南区役所管内において平成29年11月に第一回の南区地域包括ケアシステム推進会議を開催し、さまざまな高齢化対策について議論をしているところ。 ・特に、老人会や各種サロンへの参加に移動手段がない等の地域課題は十分把握はしており、高齢者がいつまでも元気で自らの力を発揮できるまちづくりの観点から、当推進会議で今後、対応策を協議することになっている。 	健康福祉局 南区役所	高齢介護福祉課 福祉課